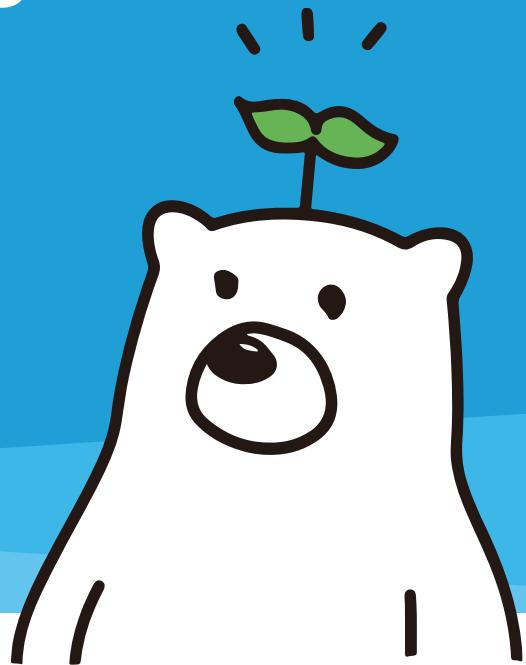


# しろくま電力

ShirokumaPower

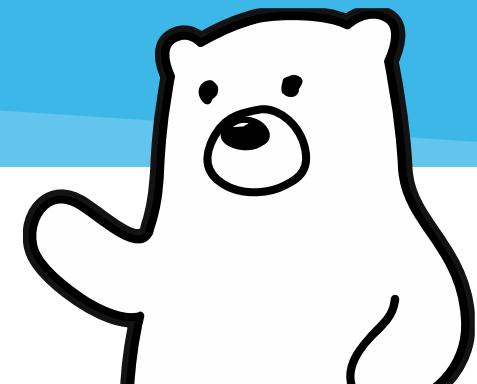


# 目次

## 1. 電力業界の現状

## 2. しろくま電力のご紹介

# 1. 電力業界の現状





## 新電力会社への一般的な不安

新電力は  
停電しやすい？

電源元が市場調達だと  
供給が不安定？

発電所を持っていない  
電力会社は、災害時など  
何かあった時に  
供給ができなくなる？



# 電力供給のしくみ「よくある誤解」

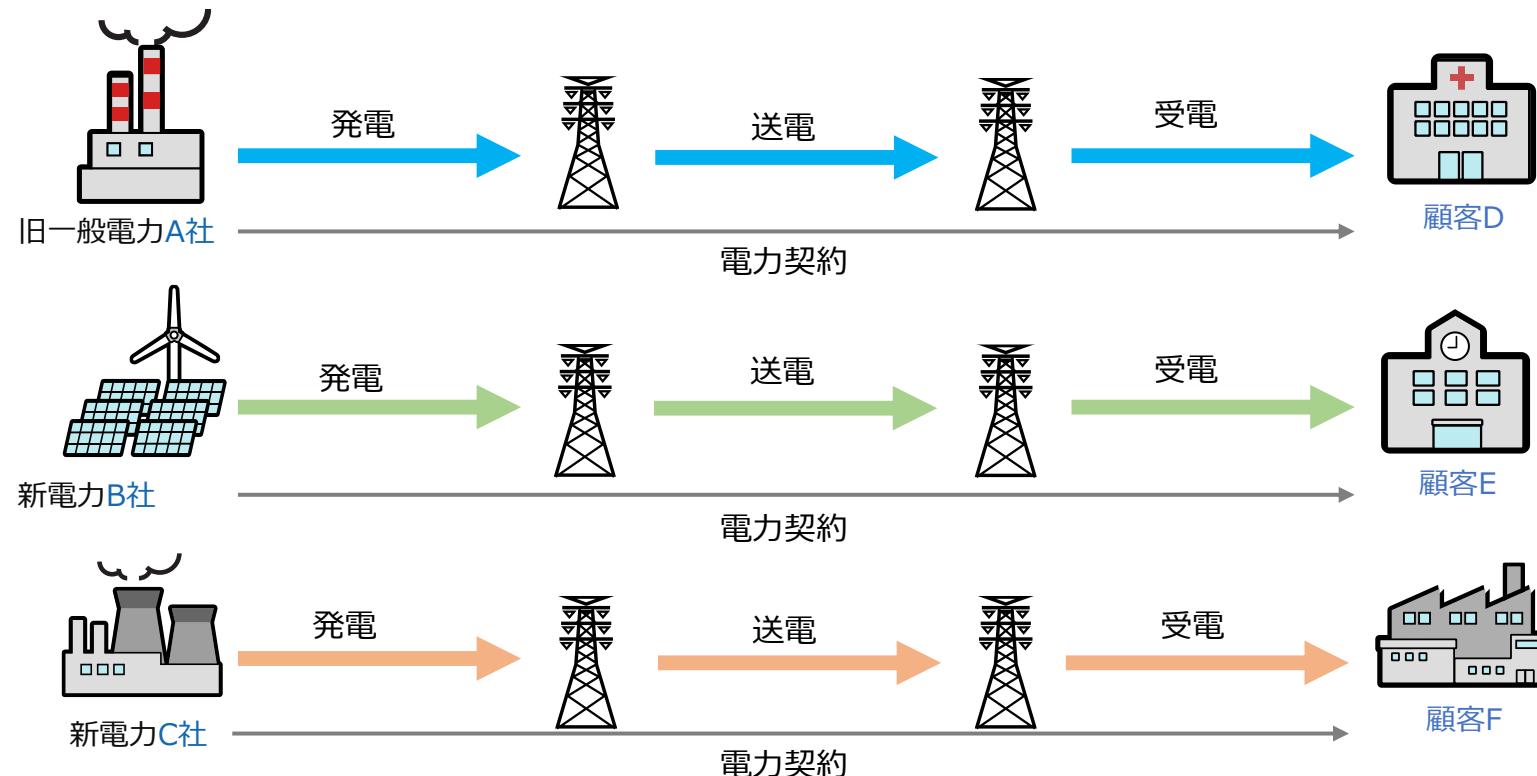


契約している電力会社の「発電と送電と受電」が物理的に連携されている？

契約している電力会社の発電所や電力調達が不安定になると停電になりやすい？

大規模な発電所を持っている電力会社の方が供給信頼度が高い？

⇒ 実際は、、、すべて誤解





**供給の安定性（＝停電の発生確率）は、  
新電力・一般電力を問わず、  
どの電力会社でも変わらない**

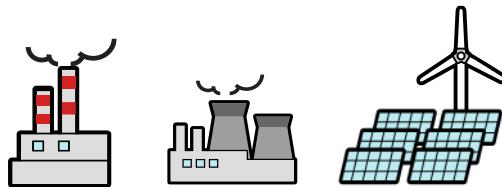


# 電力供給のしくみ

発電

自由化

- ・旧一般電力会社  
東京電力、中部電力...
- ・独立系発電事業者  
神戸製鋼、福島ガス発電  
JFEスチール...



「送電」だけは、電力供給を担うインフラなので  
自由化されていない

送電

専制（非自由化）

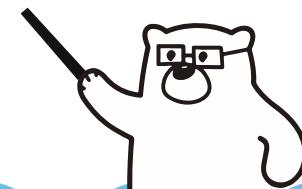
- 東京電力パワーグリッド
- 関西電力送配電
- 中国電力ネットワーク
- ...



売電

自由化

- ・旧一般電力会社  
東京電力エナジーパートナー  
中部電力ミライズ...
- ・新電力会社  
東京ガス、ソフトバンク  
エネオス、Loop...

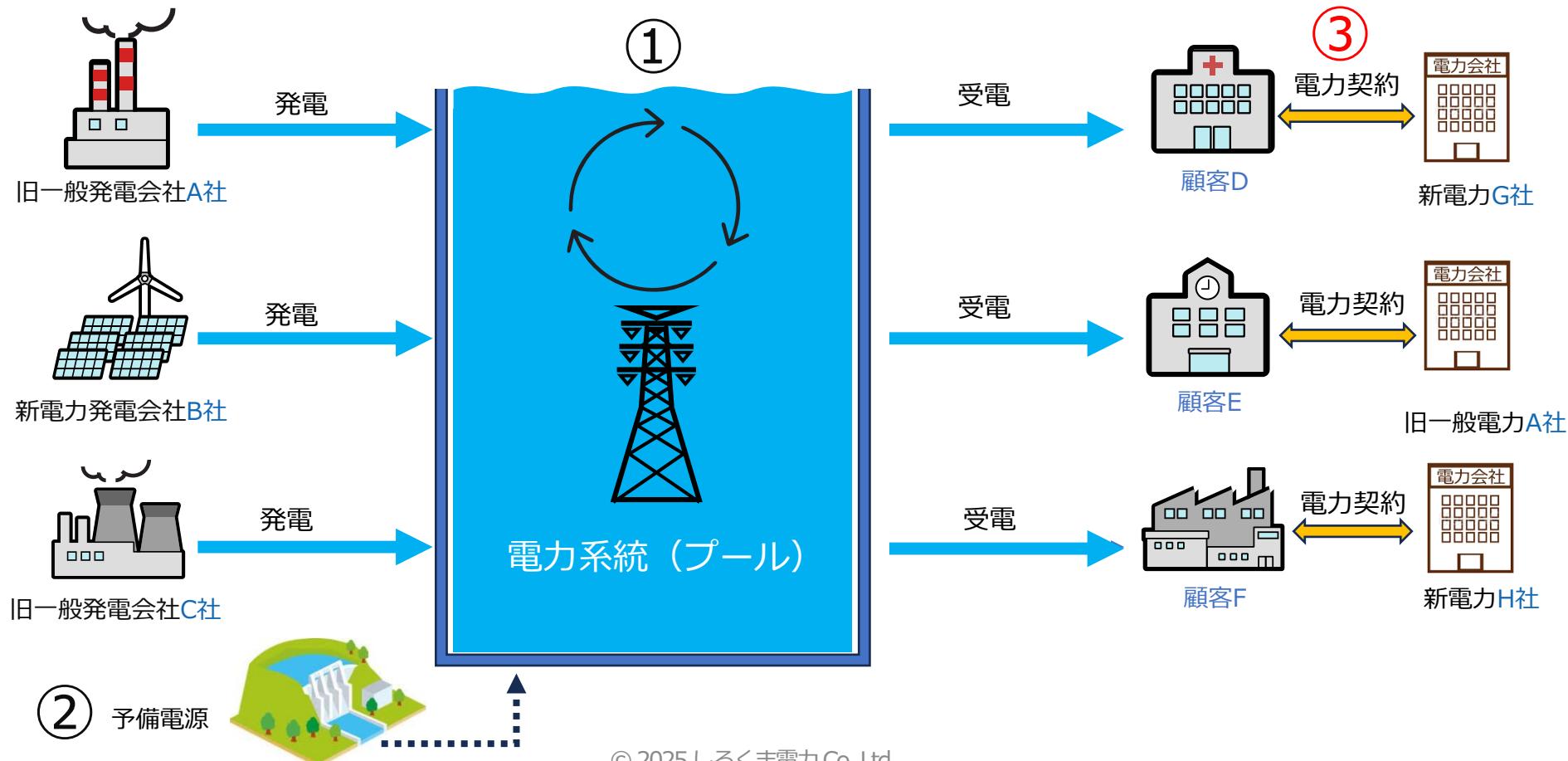




# 電力供給のしくみ（平常時）



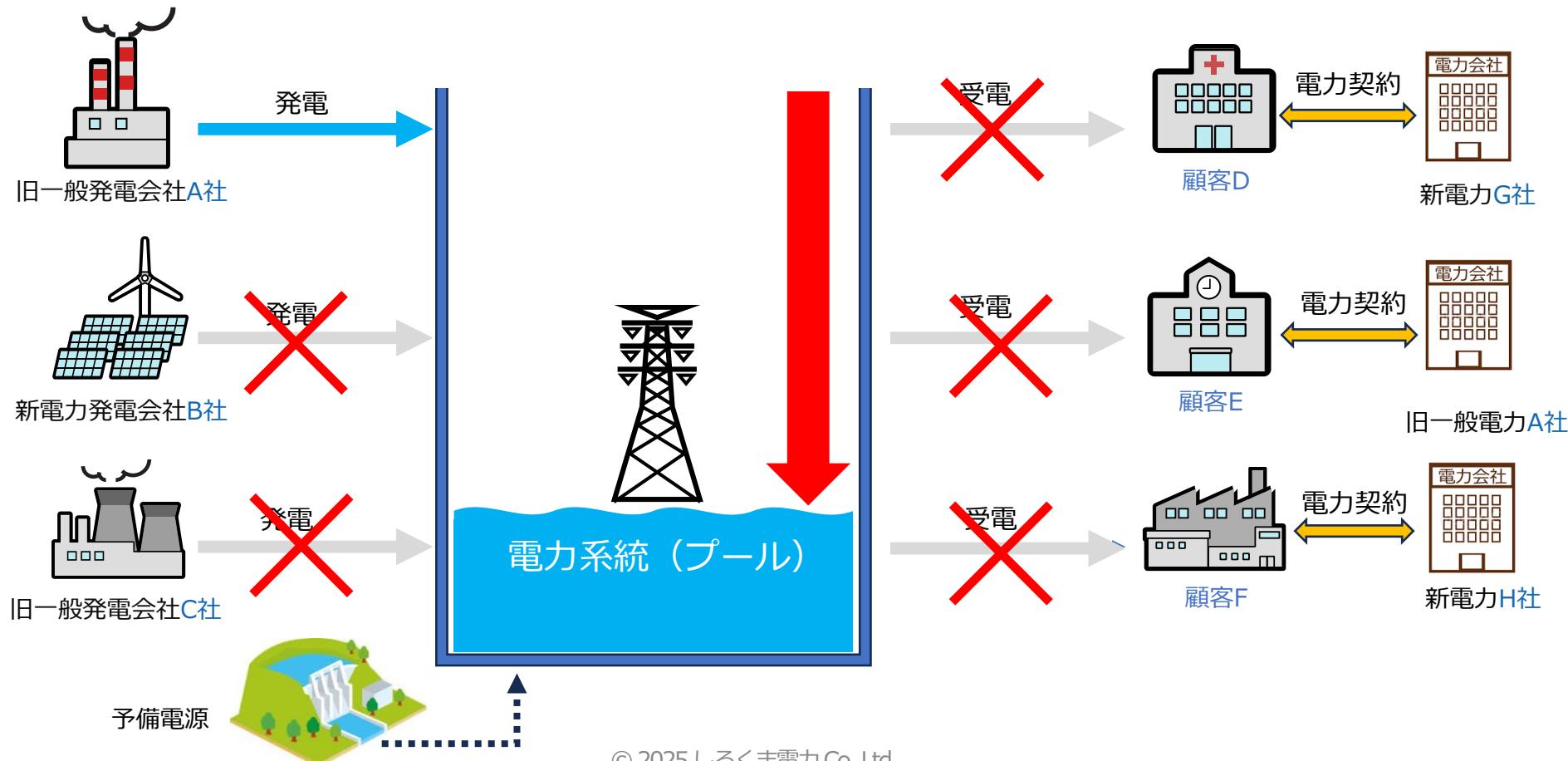
- ①発電された電気は、系統に入ったらプールの水と同じで混ざり合うため、物理的な電気の質はすべて同じ
- ②どこかの発電所が停電になっても、送配電事業者の予備電源を使うことによって停電は発生しない
- ③契約している電力会社と物理的な電気の流れは区別されている（=どの電力会社でも停電の発生確率は変わらない）

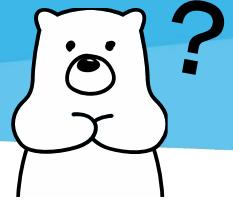




# 電力供給のしくみ（非常時）

- ①災害などで多くの発電所が止まつたら、たとえ一部が動いていても、**すべての顧客の電気が止まる**  
(電線〈系統〉の周波数が乱れて送電ができなくなるためすべての顧客の電気が止まる)
- ②**電力会社が発電所を保有していても、どの電力会社と契約していても、電源調達が市場でも相対でも、すべての顧客の電気が止まる**





## 停電した場合の「復旧の速さ」も 契約電力会社によって違いはない

電気事業法で、「電力契約を根拠に差別的な扱い」をすることは固く禁じられている（独占禁止法によるガイドラインでも同様の規定あり）

### 電気事業法第二十三条

一般送配電事業者は、次に掲げる行為をしてはならない。（中略）

二. その託送供給及び電力量調整供給の業務その他の変電、送電及び配電に係る業務について、特定の電気供給事業者に対し、不当に優先的な取扱いをし、若しくは利益を与え、又は不当に不利な取扱いをし、若しくは不利益を与えること。



# 電力会社を切り替える際の注意点！



**電力会社を切り替える際には、事業撤退や  
倒産しない企業を選択するのが重要**

- ・電力会社が倒産等により事業を廃止しても電気が即座に止まらない
- ・ただし、限られた時間のなか新たに同条件の電力会社が見つかるかは不明
- ・結果、電気代の高騰になりかねない



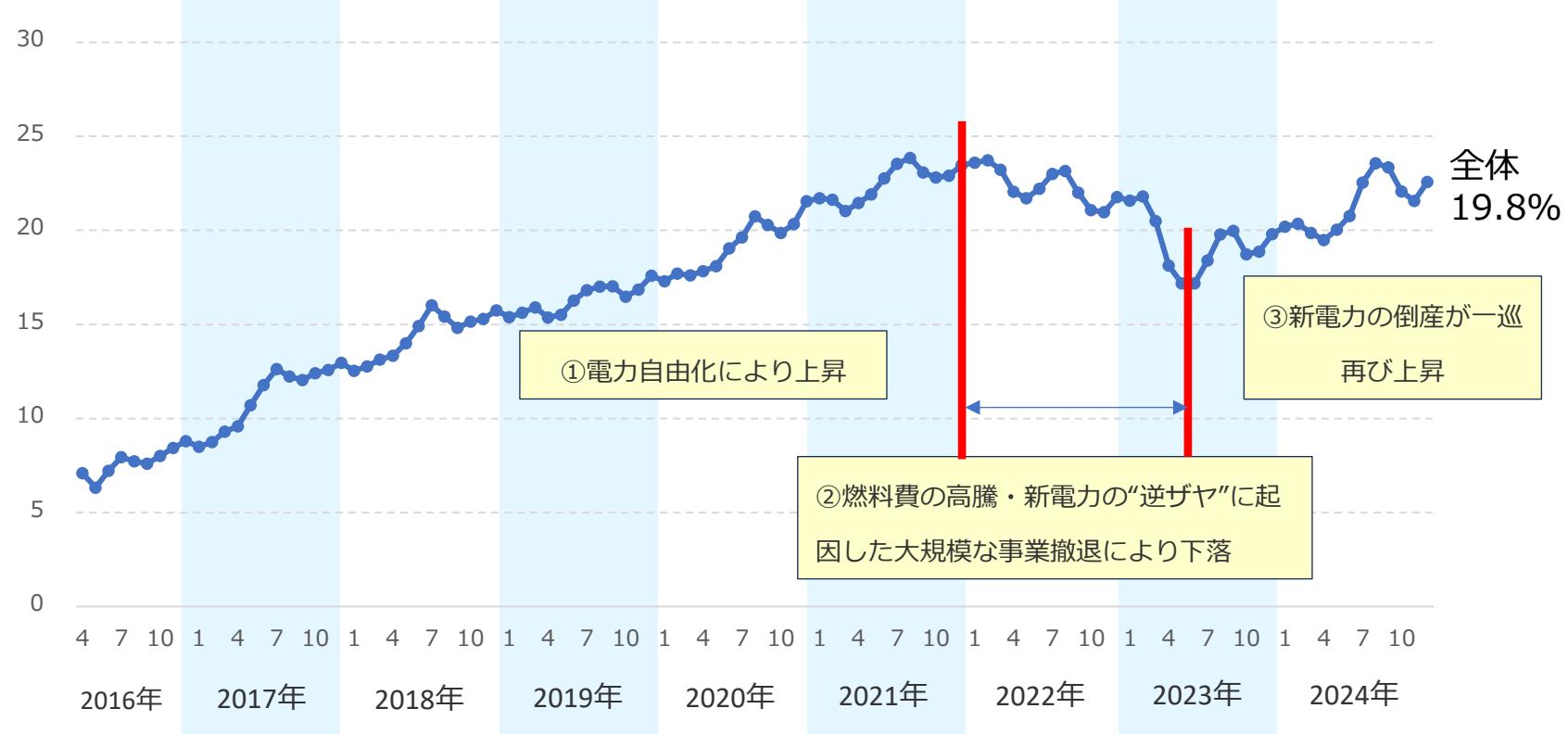
業績や財務などを含めて**安心できる電力会社**を選択することが重要



# 新電力のシェア推移



大きなトレンドとしては、新電力のシェアは上昇



出典：電力・ガス取引監視等委員会、<https://pps-net.org/market>



# なぜ新電力シェアは上昇しているのか

電気の質は一般電力とまったく同じで、

**電気代が安いから**

安さの  
理由

1

原発などの遊休資産がなくコストが抑えられる

国内原発53基のうち42基が非稼働

一般電力会社における原発維持コスト：**毎年1.5～2兆円**（一般電力9社の有価証券報告書より）

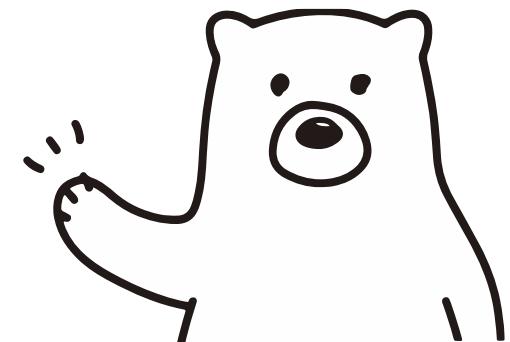
2

電気の使い方に応じた無駄のないプラン設計の自由度が高い

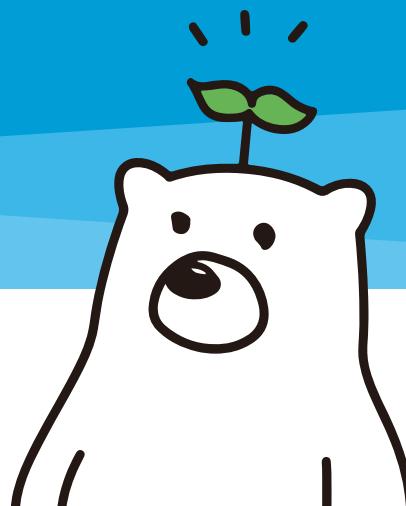
一般電力	×	一律の電力単価。一律のメニュー
新電力	△～○	会社によっては、電力単価やメニューを個別企業にカスタマイズしている



- ・供給の **安定性**においては、どの電力会社でも **差はまったくない**  
(事業撤退や倒産リスクをヘッジするため財務や事業の安定性のチェックは必要)
- ・新電力は電気代が安くなることが多く **プランも豊富** なので、  
今後もシェアは拡大の見込み
- ・電力会社を選ぶポイント
  - ①財務基盤が安定していて、
  - ②電気代が安く、
  - ③自社の電力ニーズに適している



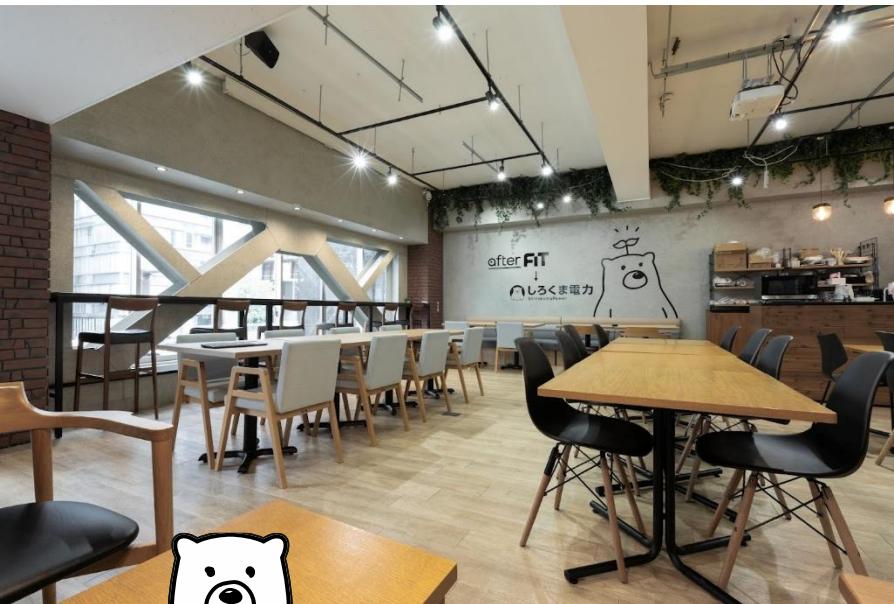
## ぱわー 2. しろくま電力のご紹介





# 会社概要

再生可能エネルギーの国内普及を通じて、  
日本がエネルギー自立国になることを目指しています



## しろくま電力株式会社 / ShirokumaPower Co., Ltd.

設立 2016年10月

代表取締役 谷本貫造

本社所在地 〒105-0012東京都港区芝大門2-4-6 豊国ビル

事業内容 グリーンエネルギーに関する課題解決事業

- ・電力
- ・蓄電池
- ・太陽光発電
- ・風力発電

拠点 えりも支店、香川支店、岡山支店、福岡支店

許認可 一級建築士事務所、建設業許可

電気工事業 土木工事業 とび・土工工事業

資源エネルギー庁 小売電気事業者、特定卸供給事業者認定

資本金 1,818百万円（資本剰余金含む）



## 盤石な財務基盤とともに、安定した成長を継続

成長性

'24年度売上

**292億円**

(過去最高。前年比：170%)

安定性

ストック売上比率

**84%**

安全性

自己資本比率

**39%\***

(一般電力平均：29%\*\*)

\* 25年1月時点

\*\* 24年12月時点。各会社の決算短信より



# 事業概要

## 蓄電池を活用して、電気代を構造的に安くする グリーンに特化した電力会社

(電力三事業をすべて展開している電力会社は4社のみ)

発電  
つくる



業界最安値レベルの高性能型  
ソーラーカーポート

蓄電  
ためる



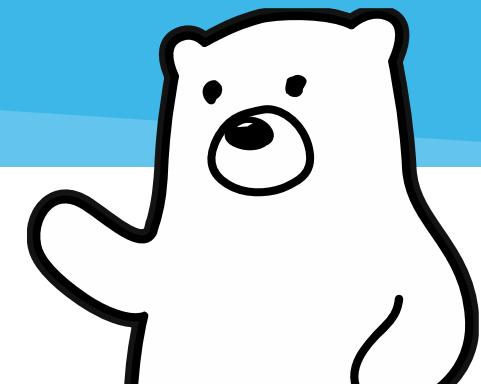
業界シェアNo.1系統用蓄電池

売電  
届ける



低炭素電力会社の電供給量業界No.1

# 発電事業



# しろくまカーポート

利用者の利便性・発電量・電気代削減に  
徹底的に拘った「高性能型のソーラーカーポート」



4本足のカーポート

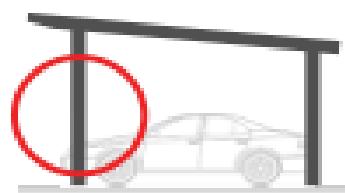
しろくまカーポート

特徴： ①前方に支柱のない「2本足」  
②4台1ユニット

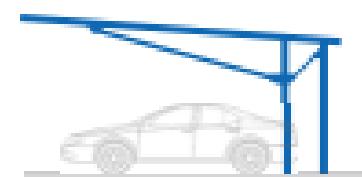
利便性： 駐車の際に柱が邪魔にならない。雨/日差しよけ。明るい

発電量： 最大化（両面パネル、車室1台あたりのパネル面積最大化）

電気代： 業界最安値レベル、業界平均比\*：15~23%減



業界標準



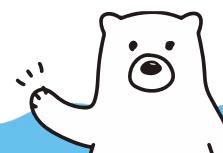
資材・工期削減、車室1台あたりの発電量の多さ、  
部材共通化・ユニット化によるコストの効率化など



# 導入事例



磯子カンツリークラブ  
Isogo Country Club



他多数



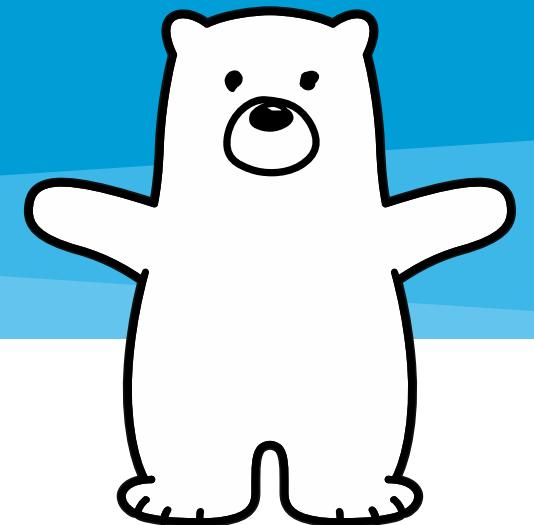
## 発電：その他開発実績



太陽光発電所  
開発・施工実績

273MW

# 蓄電事業

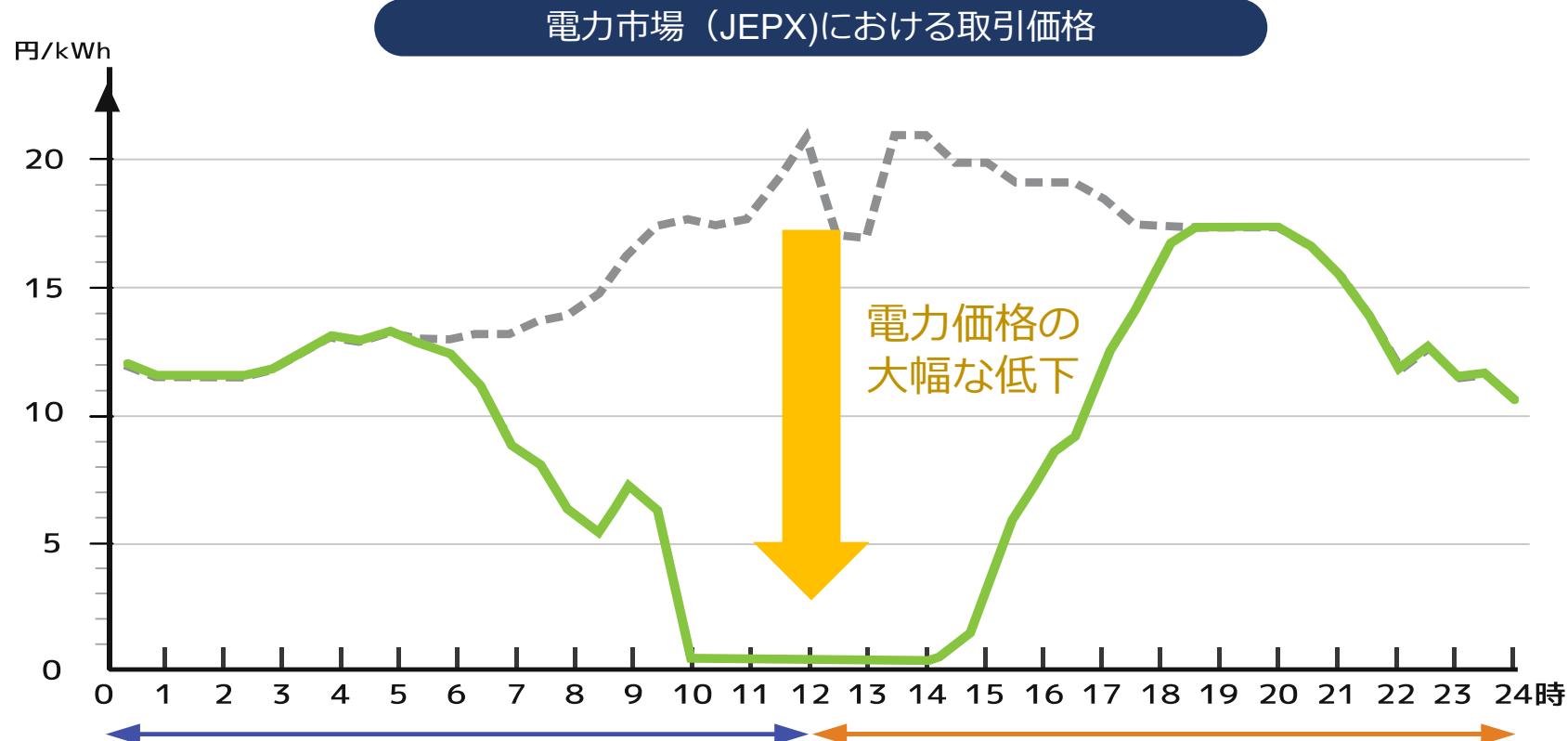




# 電力の市場価格の変化



- ① 電力は、発電事業者や電力会社によって市場で取引されている
- ② 昼間に発電する太陽光発電所が10年で2倍に増加  
⇒ 昼間の電力価格が大幅に下落  
⇒ 昼間の電力が余剰。電力は貯められないので、  
**余剰電力は廃棄** (45万世帯分の電力使用量)





# 蓄電池の機能

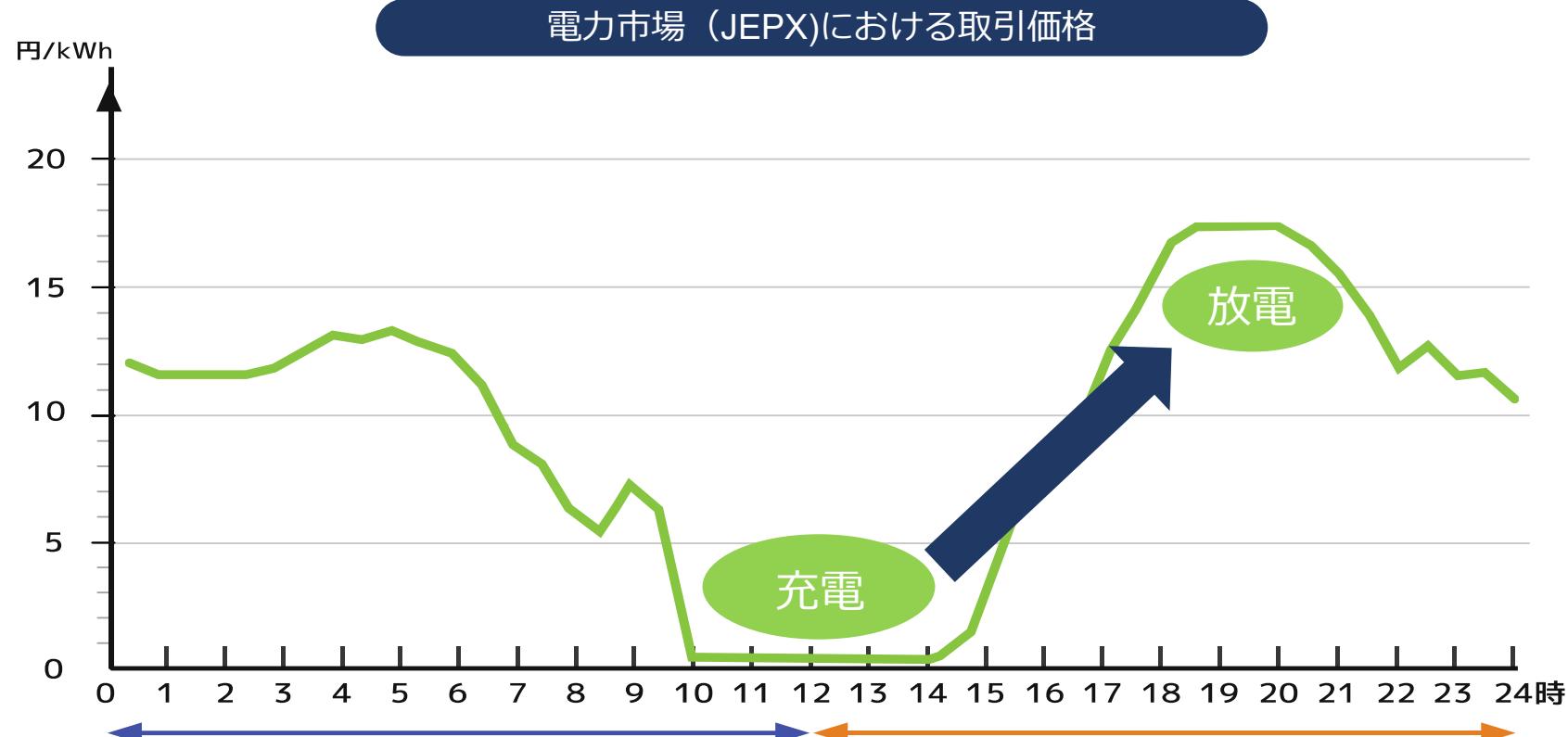


電力価格が安い昼間に充電（仕入れ）→価格が高い夕方などに放電（売却）

⇒電力市場：余剰電力の活用による電気代の低減

⇒環境：余剰再エネの活用によるCO<sub>2</sub>の削減

⇒事業会社：昼間と夕方の電力価格差による収益確保





# 蓄電事業：蓄電池を活用した電力プラン



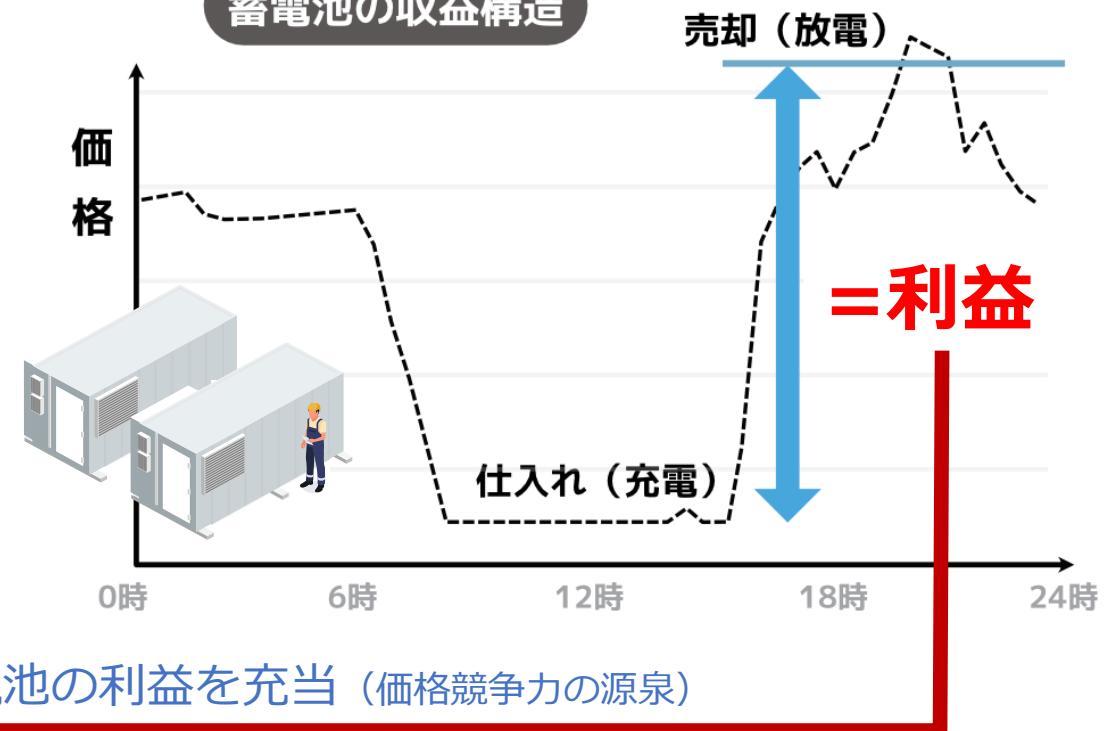
蓄電池からの利益を原資にして、

**価格競争力のある電力プラン**を実現

価格競争力のある  
「しろくま電力プラン」



蓄電池の収益構造

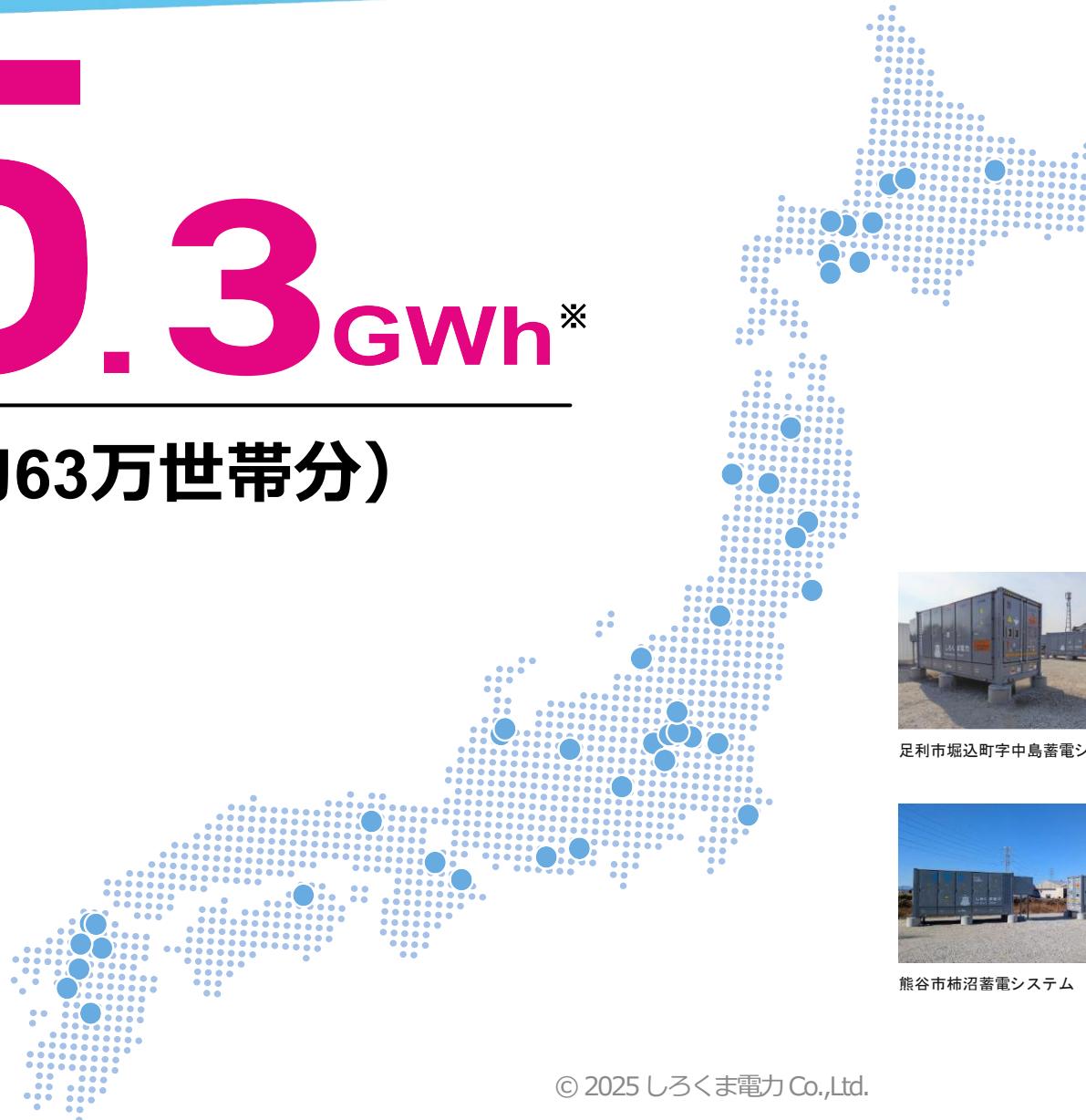




# 蓄電事業：導入案件

5.3 GWh<sup>\*</sup>

(約63万世帯分)



熊本県荒尾市蓄電システム



白老町竹浦ソーラー発電所併設



足利市堀込町字中島蓄電システム



熊谷市柿沼蓄電システム



足利市堀込町字中島蓄電システム



太田市新田赤堀町蓄電システム



太田市亀岡町蓄電システム



熊谷市柿沼蓄電システム



太田市小角田町蓄電システム

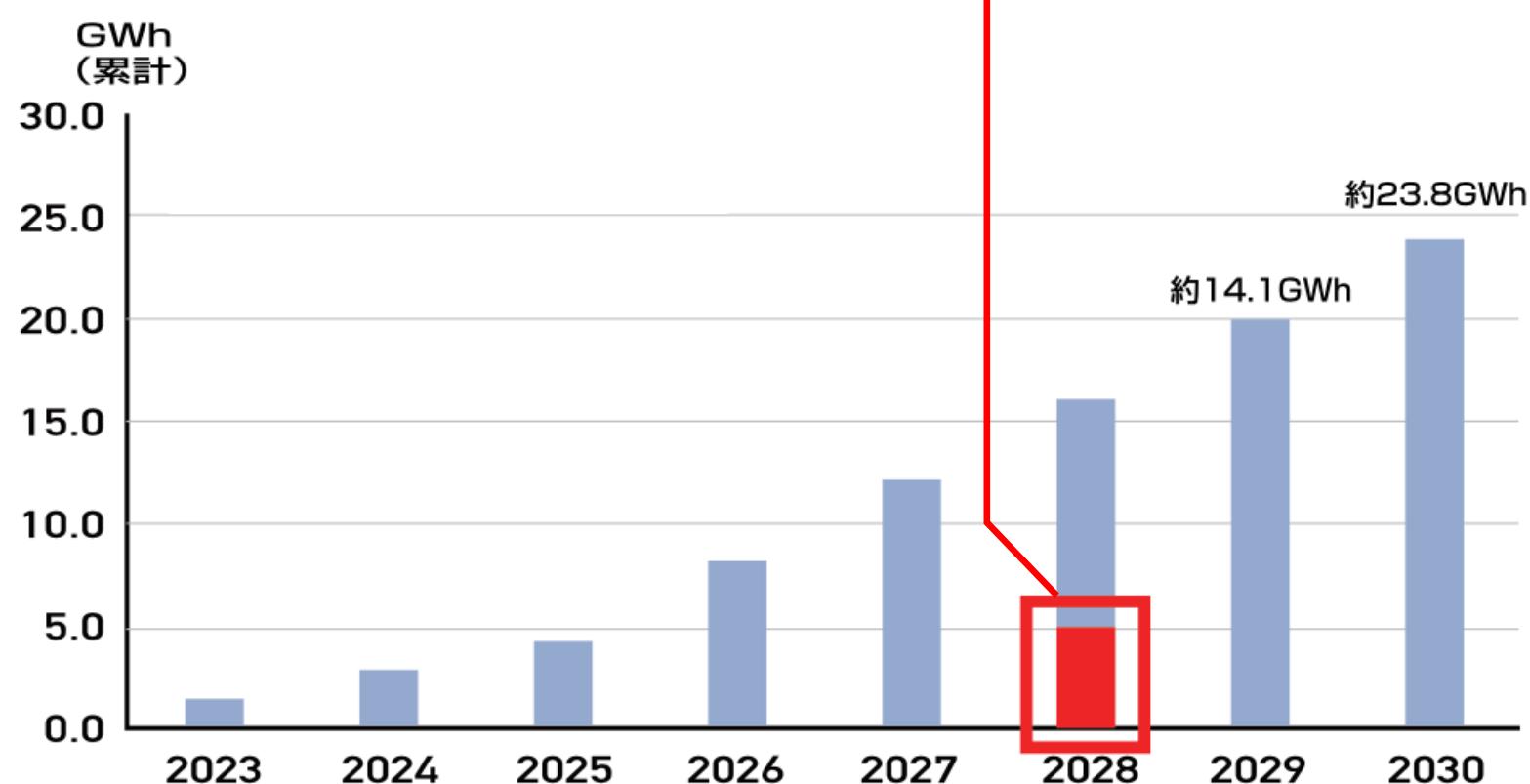


桐生市境野町蓄電システム



## 蓄電事業：市場シェア

蓄電所市場におけるシェア：約3割、圧倒的No.1  
開発力と仕入れのバーゲニング力が競争力の源泉



出典：系統用蓄電池の現状と課題 2024年5月24日 資源エネルギー庁」

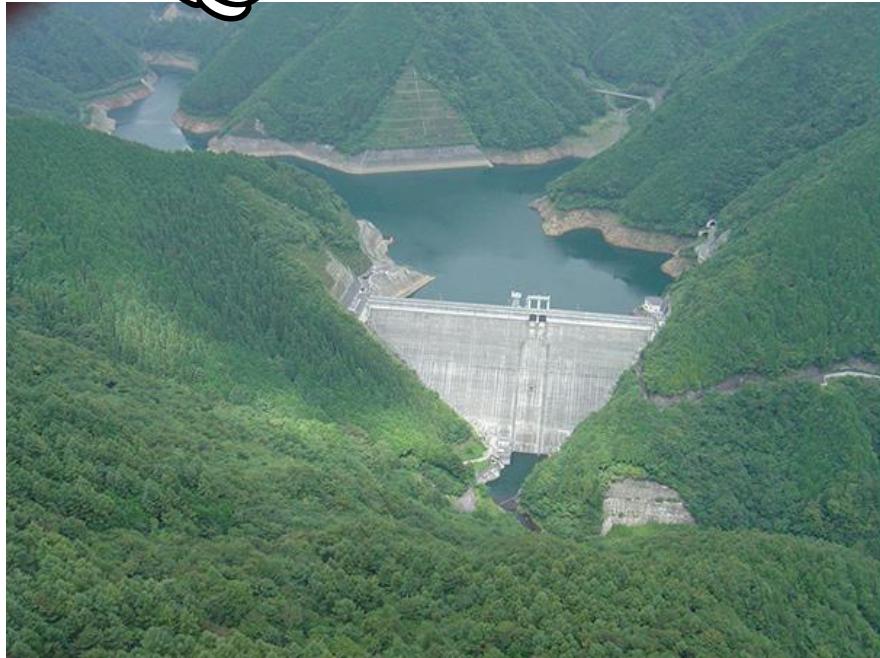
[https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku\\_gas/saisei\\_kano/pdf/062\\_05\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/saisei_kano/pdf/062_05_00.pdf)



# しろくま電力が運用している発電所



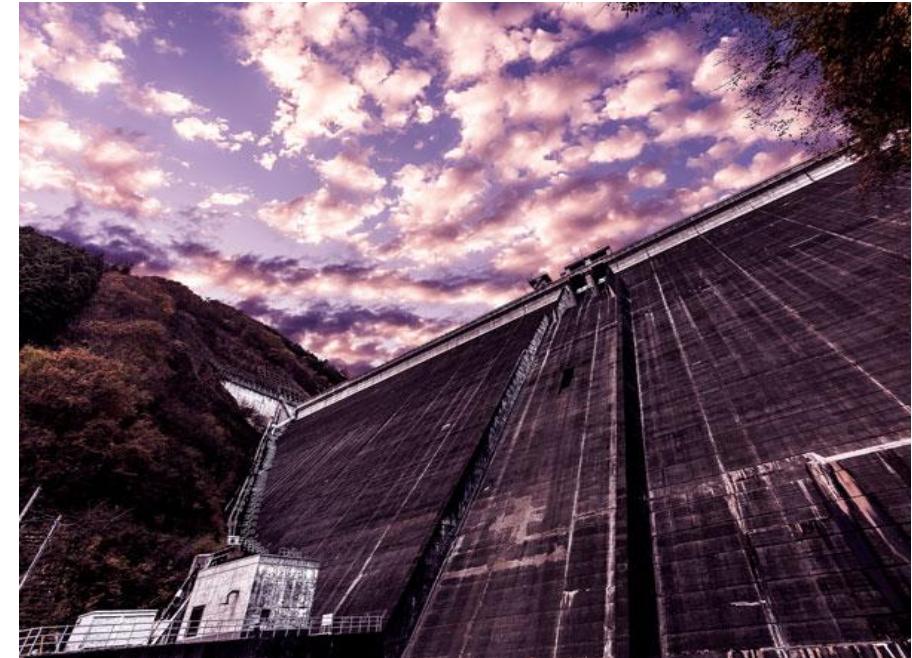
**東京電力管内にて100MWを運用**



## 神流川発電所

世界最大級の揚水式水力発電所

所在地：長野県南相木村・群馬県上野村（上池・下池）



## 葛野川発電所

落差714メートルの揚水式発電所

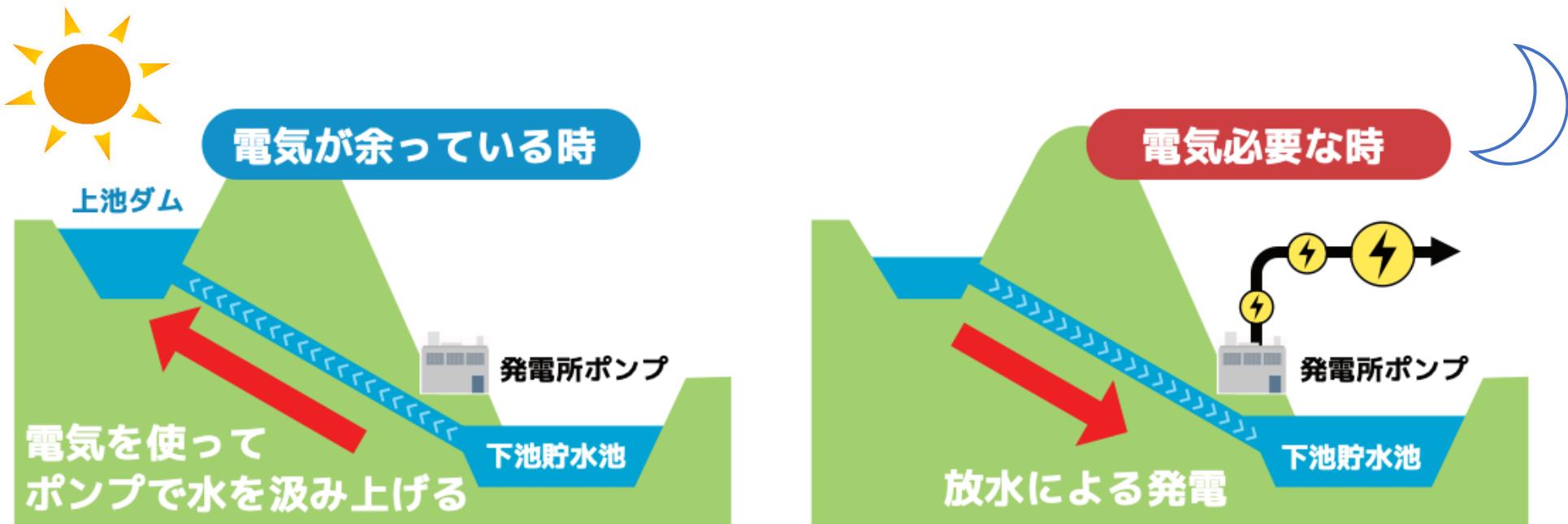
所在地：山梨県甲州市・大月市（上池・下池）



# 蓄電池事業：天然蓄電池（揚水式水力発電所）



- ① 「揚水式水力発電」とは、水をくみあげ、その水を落下させることで発電する方式の電源
- ② 市場で電気が余っている時にポンプで水を上げて、電気が不足する時に水を落下させてタービンを回し発電





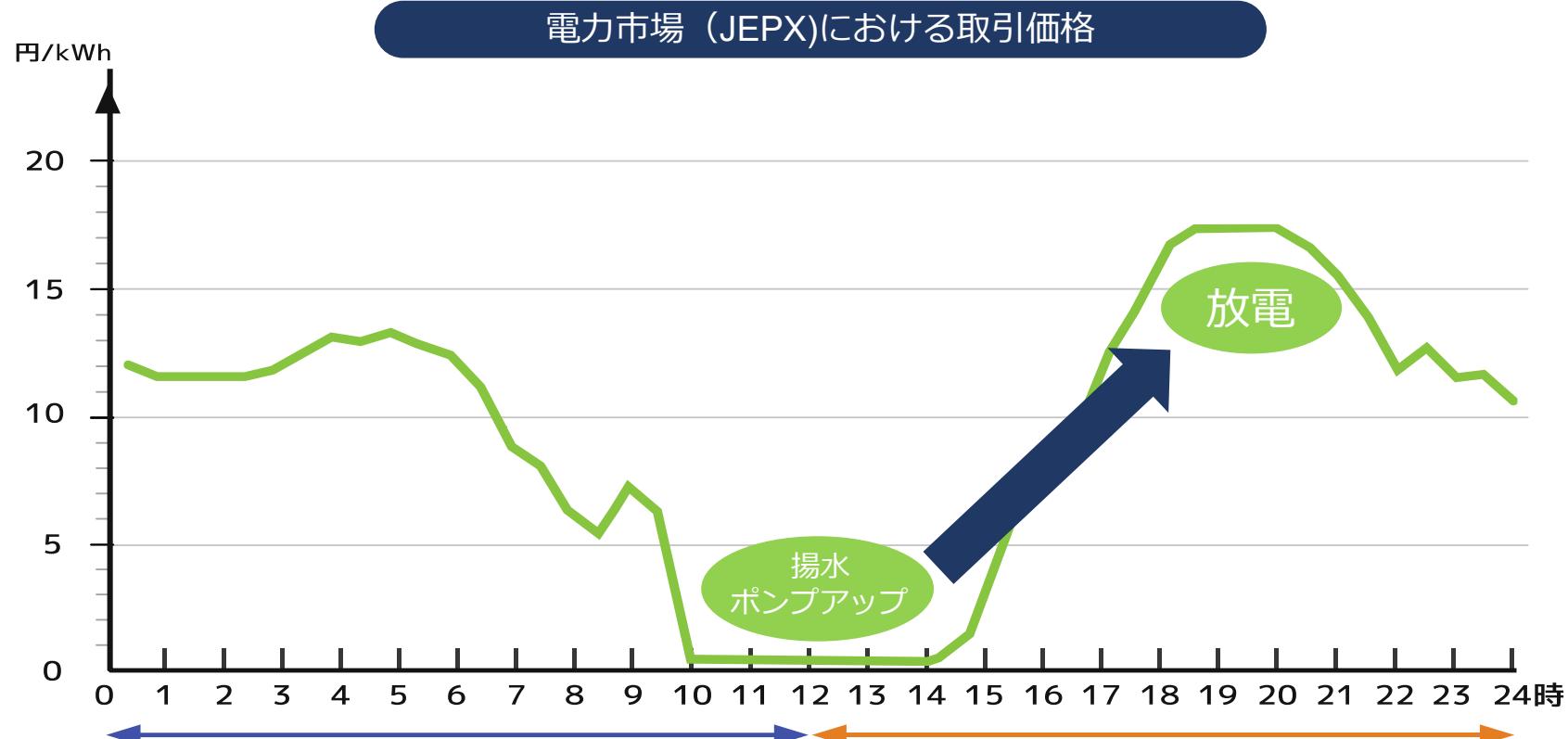
# 揚水式水力発電所の機能



蓄電池とまったく同じ機能を有している

⇒電力価格が安い昼間に揚水（ポンプアップ）→価格が高い夕方などに放電（売却）

⇒昼間と夕方の電力価格差による収益



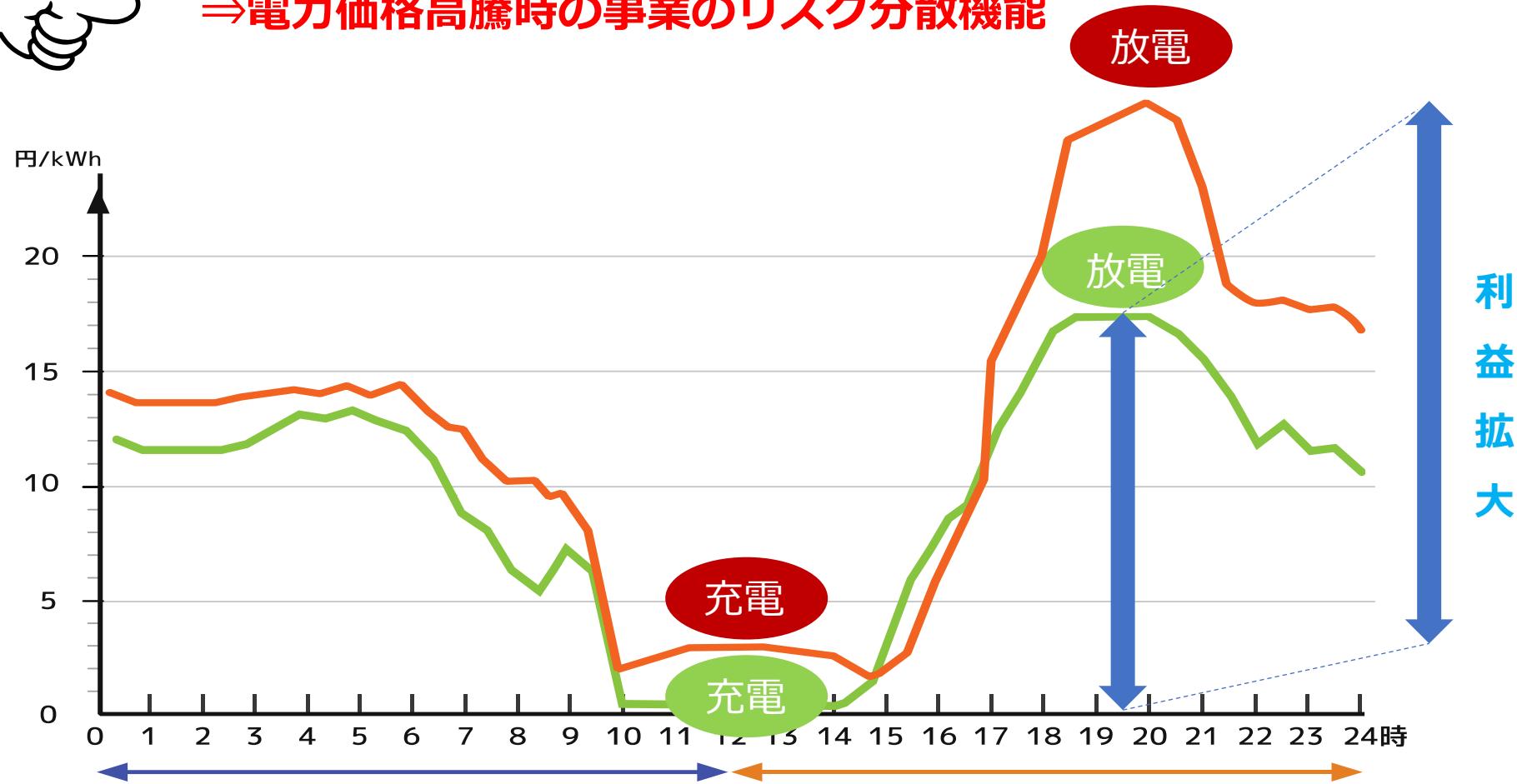


# リスク分散機能としての蓄電池事業（揚水式水力含む）

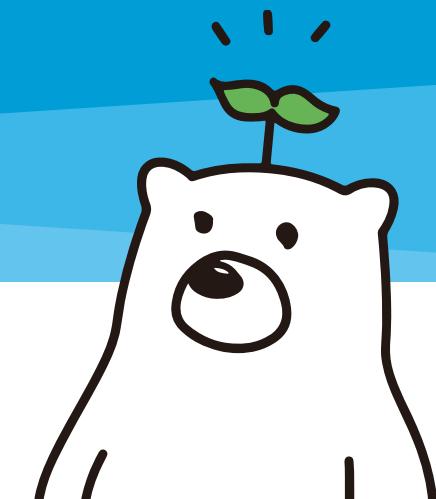


電力価格の高騰時=価格の変動幅が大きくなり蓄電事業の収益は増加

⇒電力価格高騰時の事業のリスク分散機能



# 壳電事業





**お客様の期待を上回る電力プランを  
提供することによって、  
電気代の削減と脱炭素を実現する**



# 売電事業：導入事例

絶対的な安さが必要な自治体をはじめ、  
さまざまな製造業・サービス業の企業さまがしろくま電力を利用



秋田県  
AKITA PREFECTURE



足立区  
ADACHI CITY



伊丹市  
ITAMI CITY



稻城市  
INAGI CITY



江戸川区  
EDOGAWA CITY



狛江市  
KOMAE CITY



世田谷区  
SETAGAYA CITY



多摩市  
TAMA CITY



中央区  
CHUO CITY



豊島区  
TOSHIMA CITY



箱根町  
HAKONE TOWN



平塚市  
HIRATSUKA CITY



府中市  
TOKYO FUCHU CITY



文京区  
BUNKYO CITY



益田市  
MASUDA CITY



南足柄市  
MINAMIASHIGARA CITY



武蔵野市  
MUSASHINO CITY



目黒区  
MEGURO CITY



ケーヨーデイツー



TAKE and GIVE NEEDS



国立大学法人  
電気通信大学  
The University of Electro-Communications



日鉄ケミカル&マテリアル



\*東京オフィスにて導入



変わり続けることを防ぐホテル



FUJISOFT





# 売電事業：しろくま電力のポジション

「低炭素電力会社」における高圧部門の **電力供給量第1位**

1位 しろくま電力 (供給量：58,359MWh)

2位 ゼロワットパワー (供給量：47,424MWh)

3位 UPDATER (みんな電力) (供給量：21,935MWh)

4位 東急パワーサプライ (供給量：18,137MWh)

•

•

•

\*1 R7.3.18 環境省・経済産業省公表「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)－R5年度実績－」における実績値より、事業者全体の調整後排出係数が、政府が掲げる2030年の電力部門の排出係数目標を満たす0.25kg-CO<sub>2</sub>/kWhを下回っている電力小売り事業者の中で、2024年11月度の高圧の電力供給量を比べたもの。



電気代削減などによる高いお客様満足度の結果、

業界でも稀な**高い契約継続率**

**契約継続率 92%**

(業界平均：70%前後)

2025年1月時点（前期末）





## 売電事業：主な電力プラン

3つの主軸プランをベースに

お客さまのニーズに併せてカスタムメイドでプランを開発

法人のお客様向け

使い方次第でもっと安く！

市場連動型プラン

法人のお客様向け

安定的に安く！

固定単価型プラン

法人のお客様向け

変更なしで安心！

完全固定プラン



# 売電事業：主な電力プラン（概要）

法人のお客様向け

使い方次第でもっと安く！

## 市場連動型プラン

法人のお客様向け

安定的に安く！

## 固定単価型プラン

法人のお客様向け

変更なしで安心！

## 完全固定プラン

利用者像： 電気代の変動を許容できて最大限の安さを求めたい方  
(日中の使用量が多い方)

特徴： 市場の電力価格と連動して電気代のすべてが30分ごとに変動

利用者像： 電気代の変動はなるべく小さく抑えながら安さを求めたい方

特徴： 燃料価格と連動して電気代の一部が変動  
(大手の標準プランと同じ)

利用者像： 電気代の安さよりも変動しないことを求めたい方

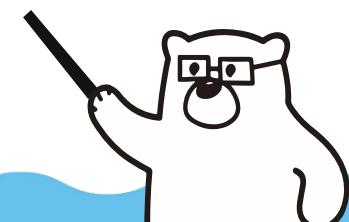
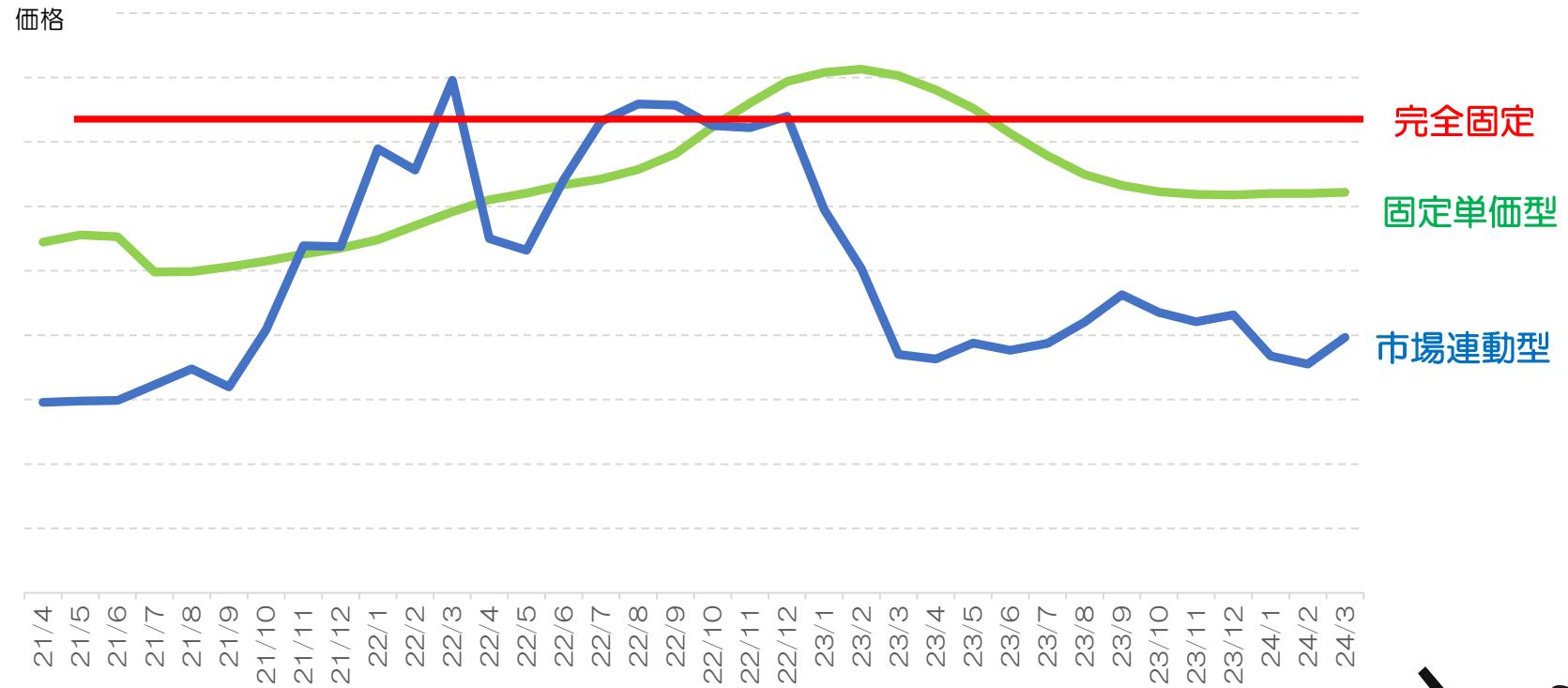
特徴： 市場や燃料価格の影響を受けず、電気代のすべてが固定



# 売電事業：主力プランの価格と変動イメージ

長期視点での平均価格：市場連動 < 固定単価 < 完全固定

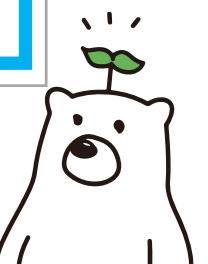
価格の変動幅  
：完全固定 < 固定単価 < 市場連動





# 市場連動型メニューと従来のメニュー特徴比較

料金種別	従来型プラン (燃料費変動型)	市場連動型しろくまプラン (市場連動型)
①基本料金	固定	固定
②従量料金	固定	変動 (市場価格)
③燃料費調整額	変動 (輸入燃料価格)	無し
④再エネ賦課金	年1回変動	年1回変動
⑤環境価値	電力会社の排出係数に依存	実質再エネ100%
変動要因	燃料の輸入価格 (原油、LNG、石炭、為替)	卸電力市場価格 (燃料、国内の電力需給バランス)





# 正確でフェアな市場連動の計算方法

<毎月の電力量料金の計算式>

日時	9/1	9/2	…	9/30
00:00-00:30	20.40	50.50	…	25.10
:	:	:	…	:
11:00-11:30	14.50	30.50	…	20.10
11:30-12:00	3.00	20.20	…	8.00
12:00-12:30	0.01	21.50	…	8.00
:	:	:	…	:
23:30-24:00	21.20	45.00	…	22.50

市場価格（30分毎） [円/kWh]

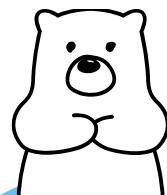
日時	9/1	9/2	…	9/30
00:00-00:30	120	135	…	110
:	:	:	…	:
11:00-11:30	200	250	…	195
11:30-12:00	210	280	…	200
12:00-12:30	195	275	…	210
:	:	:	…	:
23:30-24:00	110	130	…	100

電力使用量 [kWh]

日時	9/1	9/2	…	9/30
00:00-00:30	2448	6817	…	2761
:	:	:	…	:
11:00-11:30	2900	7625	…	3919
11:30-12:00	630	5656	…	1600
12:00-12:30	2	5912	…	1680
:	:	:	…	:
23:30-24:00	2332	5850	…	2250

従量料金（全コマ分を合計） [円]

節電やピークシフトで更なる料金抑制効果発揮  
=需要家様の努力も料金に反映される





# 市場連動型プラン（市場価格のイメージ）

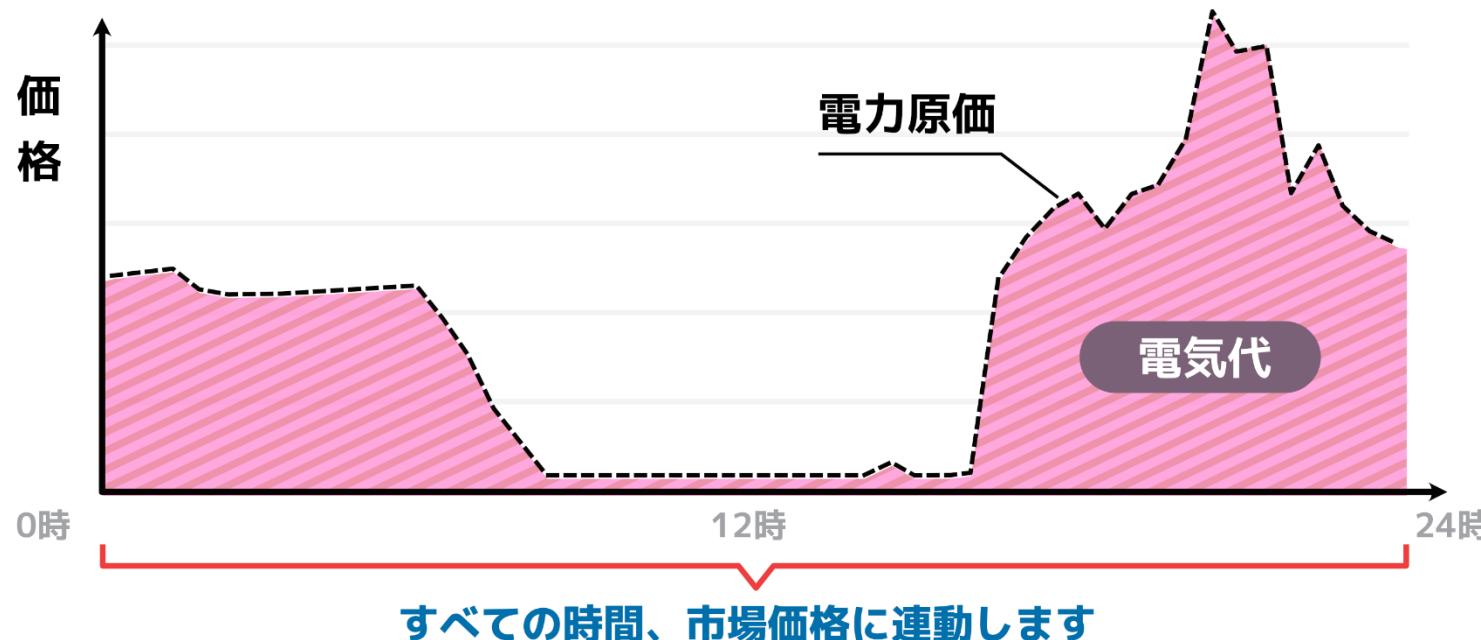
特徴：電気料金が電力市場価格と連動している商品

メリット：長期視点では、固定単価型、完全固定型プランより電気料金が安い

デメリット：市場の電力価格に連動していて、電気料金の変動幅が相対的に大きい

お薦めの企業さま

- ・電気代の変動幅を許容できて、最大の安さを追求したい企業さま
- ・日中の電気使用量が相対的に多い企業さま





# 上限付き市場連動型プラン（市場価格連動）

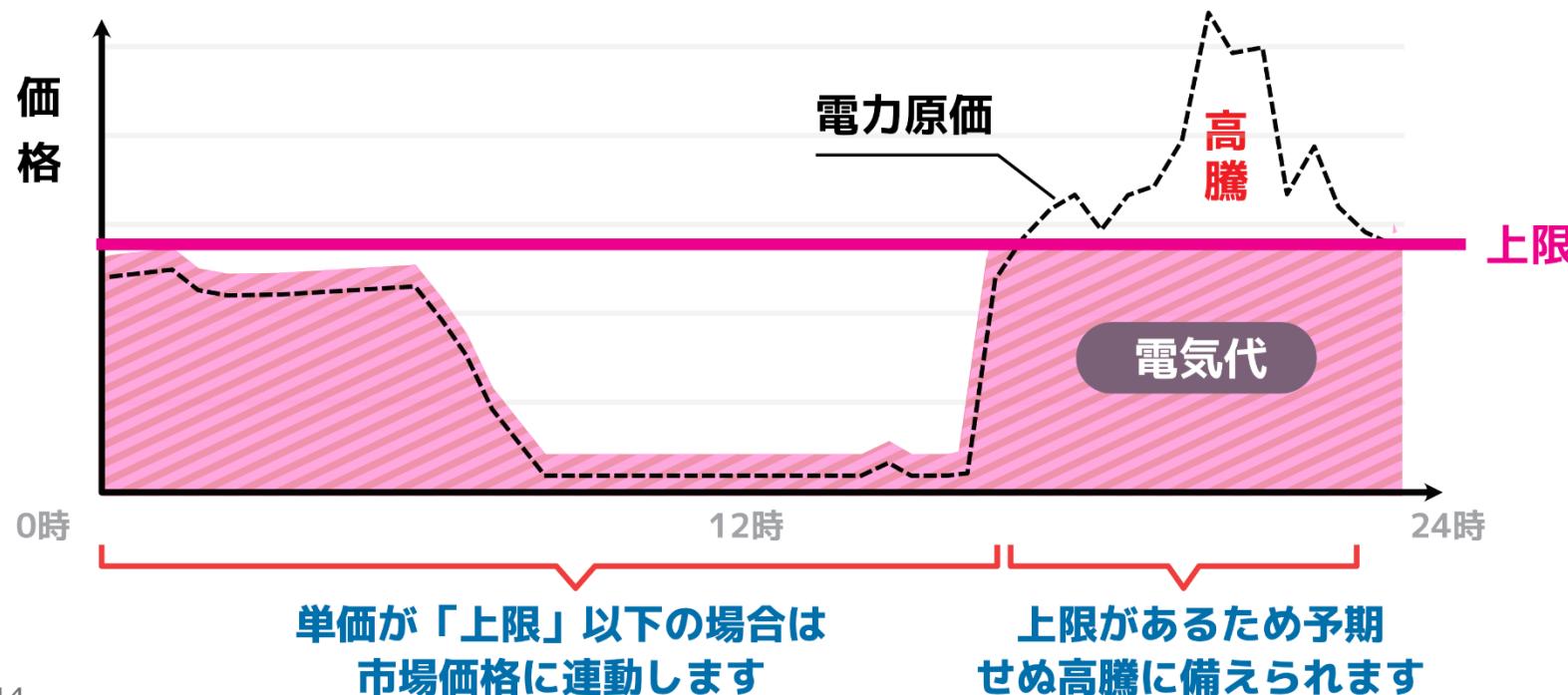
特徴：市場連動のプランに電気料金の上限価格が設定されている商品

メリット：電力価格の高騰時にも“電気料金の上限”がある。

デメリット：電気料金の高騰ヘッジコストが含まれるため、通常の市場連動よりは電気料金が高い

お薦めの企業さま

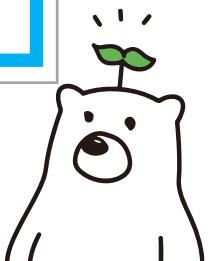
- ・電気料金の高騰リスクを回避しつつ、安さを追求したい企業さま
- ・日中の電気使用量が相対的に多い企業さま





# 揚水型市場連動と通常市場連動型プランの特徴比較

料金種別	市場連動型プラン (通常)	揚水型市場連動プラン
①基本料金	固定	固定
②従量料金	変動（市場価格）	変動（市場価格）
③燃料費調整額	無し	無し
④再エネ賦課金	年1回変動	年1回変動
⑤環境価値	実質再エネ100%	実質再エネ100%
⑥オプション料	無し	あり
⑦揚水割引	無し	あり
変動要因	卸電力市場価格 (燃料、国内の電力需給バランス)	卸電力市場価格 (燃料、国内の電力需給バランス)





# 揚水型市場連動プラン（しろくま電力限定プラン）

特徴：市場連動型プランより常に電気料金が安く、市場価格が高くなるほど

電気料金の割引率が大きくなる

メリット：長期視点ではすべてのプランで最も電気料金が安い。市場連動型より変動幅が小さい

デメリット：電気料金の変動幅が、完全固定型や燃調リンク型より相対的に大きい

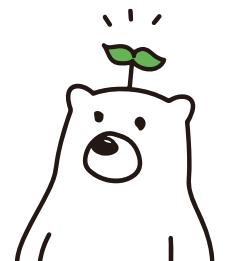
お薦めの企業さま

- ・市場連動より変動幅を抑えつつ、最大の安さを追求したい企業さま
- ・日中の電気使用量が相対的に多い企業さま

電気料金の削減イメージ（対市場連動型プラン）

平常年：- 1 % (例：2024年)

高騰年：- 10 % (例：2022年)

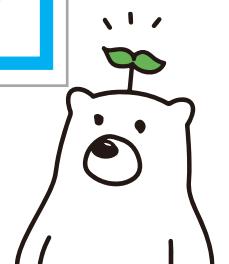




# 固定単価型プランと従来のメニュー特徴比較

料金種別	燃調リンク型プラン (従来型プランと同じ)	固定単価型プラン (電源調達調整費付き)
①基本料金	固定	固定
②従量料金	固定	固定
③調整費	<b>燃料費等調整額</b>	<b>燃料費等調整額</b>
④再エネ賦課金	年1回変動	年1回変動
⑤環境価値	電力会社の排出係数に依存	実質再エネ100%
変動要因	燃料の輸入価格 (原油、LNG、石炭、為替、市場価格)	卸電力市場価格 (燃料、国内の電力需給バランス)

しかも 脱炭素！





# 燃調リンク型プラン（従来型プラン）

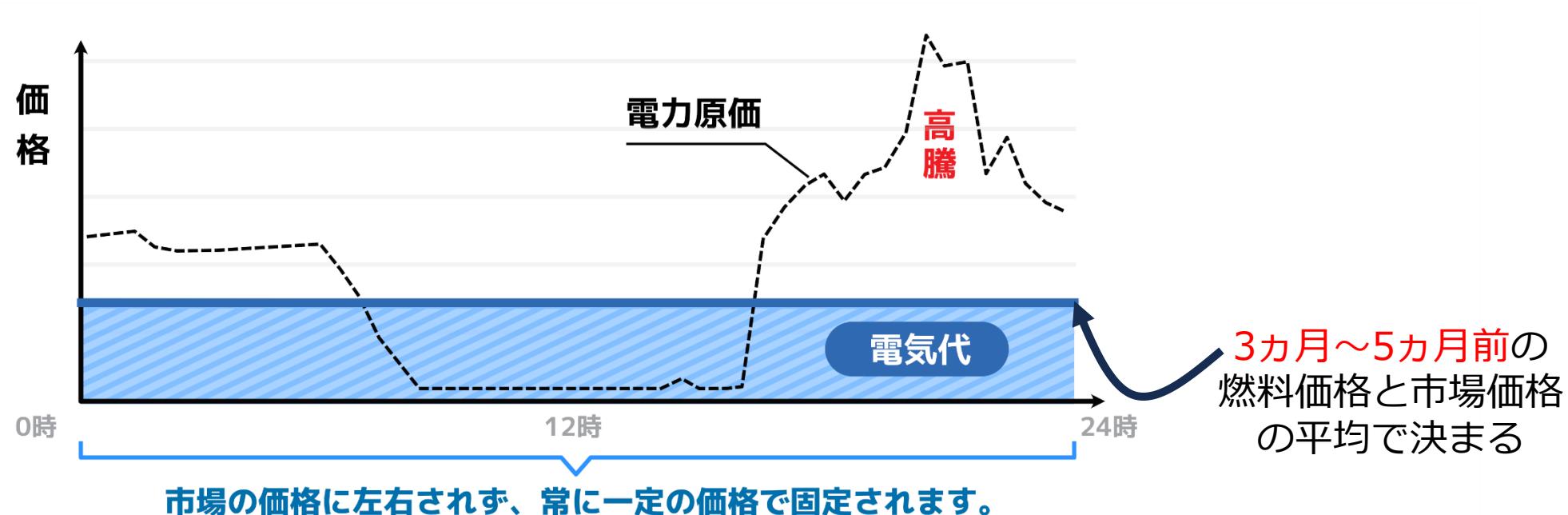
特徴：基本料金と従量料金が固定単価になっている。燃料調達価格に応じた調整項目がある商品

メリット：今までと同等の変動幅で電気料金がいまより安くなる

デメリット：燃料価格の変動によって、電気料金が今までと同程度、変動する

お薦めの企業さま

- 今までと同等の変動幅で電気料金を安くしたい企業さま





# 固定単価型プラン（電源調達調整費付き）

特徴：基本料金と従量料金が固定単価になっている。電源調達価格に応じた調整項目がある商品

メリット：一日のなかにおいて変動しない。完全固定より電気料金が安い

デメリット：電源調達価格の変動によって電気料金が変動する

お薦めの企業さま

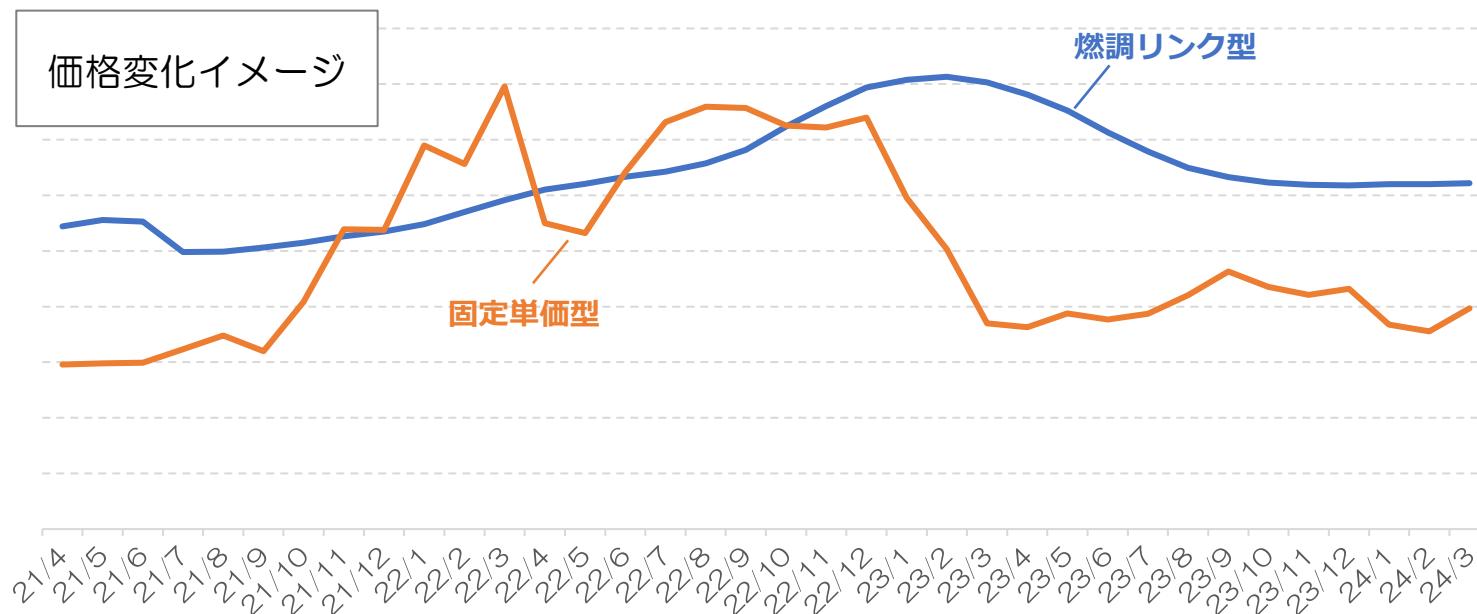
- ・電気料金の変動を一定程度合い許容しながら、安さを追求したい企業さま





# 燃調リンク型と固定単価型の比較

- どちらのプランも“価格変動の影響元”は、ほぼ同じ（最終的には燃料費）
- 燃調リンク型は価格変動が「ゆっくり上がって、ゆっくり下がる」  
変動幅を小さくする分、電力会社のマージンが多く、基本料金や従量料金単価が高い
- 固定単価型は「早く上がって、早く下がる」  
変動幅を大きくする分、電力会社のマージンが少なく、基本料金単価が安い





# 完全固定型プラン

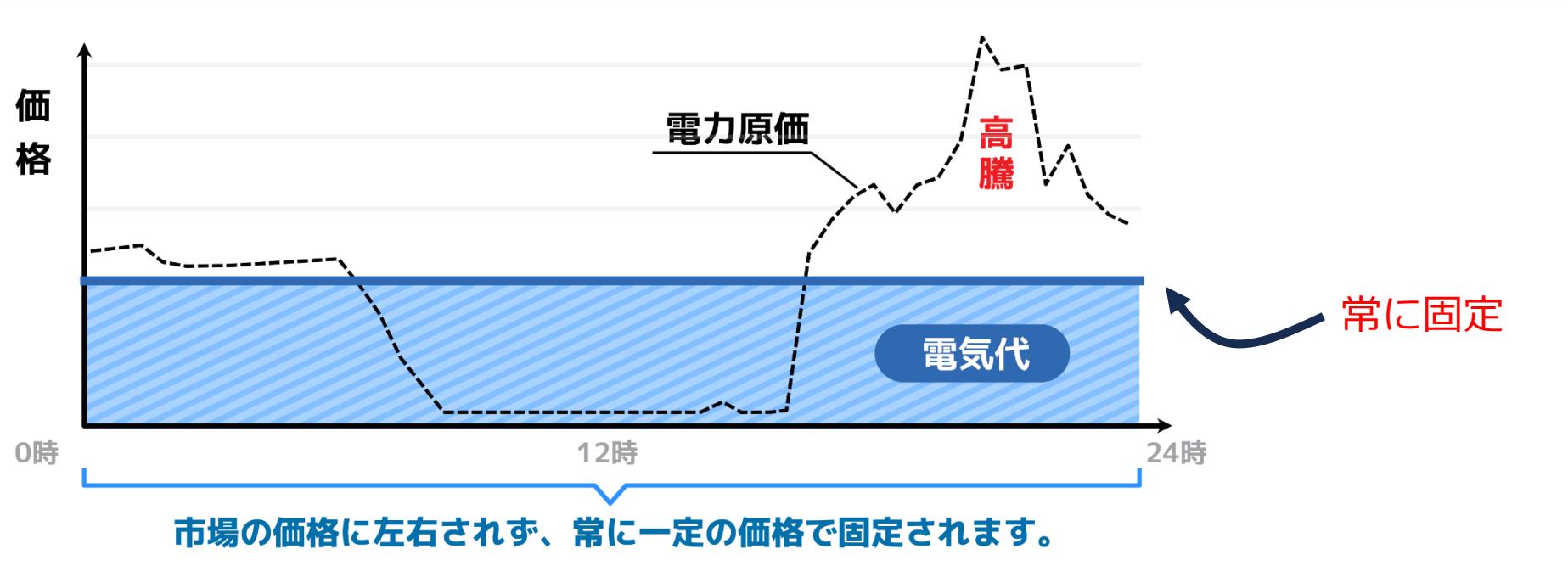
特徴：一切の調整項目がなく、電気料金が完全に固定されている商品

メリット：変動が一切ない

デメリット：他のプランと比べると電気料金が高くなる

お薦めの企業さま

- ・予算管理などの理由で電気料金の変動を避けたい企業さま





## その他プラン（ミックスプラン）

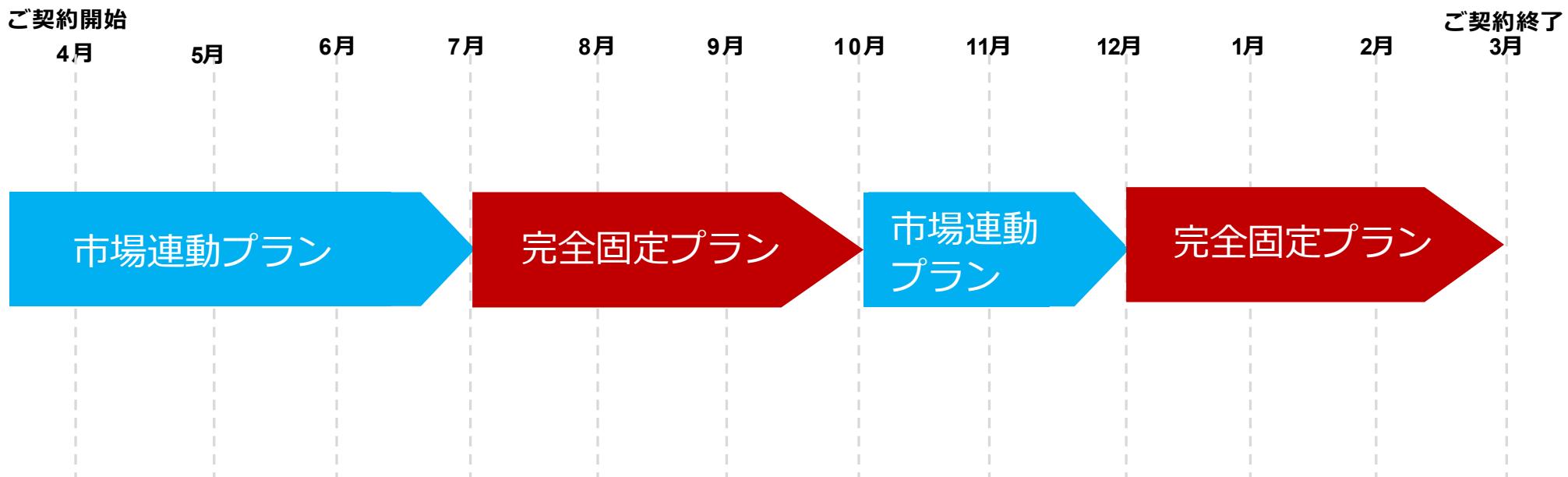
特徴：季節によって固定型（夏/冬など）と市場連動型（春秋など）がミックスされている商品

メリット：電気料金の高騰のリスクを回避できて、安さも追求できる

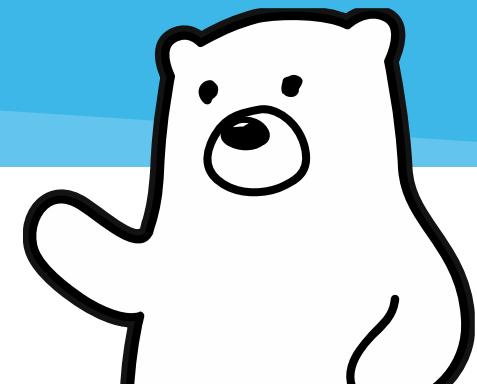
デメリット：一定の時期を完全固定にする分、市場連動型や固定単価型よりは料金が高くなる

お薦めの企業さま

- ・まずはリスクを完全に抑えたうえで、電気料金の安さを追求したい企業さま



# 山口県水力プラン ～やまぐちぶちエコでんき～





# 山口県内の水力発電を活用した電力プラン

山口県企業局が保有する水力発電所の電力を活用した地産地消を促進する新たな電力メニュー「やまぐちぶちエコでんき」について、お申し込みの受付を開始し、2026年4月より供給を開始。

発電所名	所在地	最大出力
菅野発電所	周南市大字金峰字東松室 2986 番地 4	14,500kW
水越発電所	周南市大字金峰字北小田原 842 番地 2	1,300kW
徳山発電所	周南市大字徳山 5112 番地 1	6,500kW
本郷川発電所	岩国市本郷町本郷字引地 2270 番地 2	260kW
生見川発電所	岩国市美川町南桑字カシ原 1691 番地 6	1,800kW
小瀬川発電所	岩国市美和町釜ヶ原字土打 479 番地 4	630kW
末武川発電所	下松市大字瀬戸字楮浴 627 番地 2	1,600kW
佐波川発電所	山口市徳地船路字滝下 1096 番地 1	3,500kW
木屋川発電所	下関市豊田町大字大河内字井手ヶ平 106 番地 9	1,850kW
新阿武川発電所	萩市川上字なんかけ 2344 番地 1	19,500kW





# 本プラン導入のメリット

## 1. 電気の地産地消

電源を山口県内の水力発電所に特定するため、電気の地産地消が実現。

※当該水力発電所の電力量で賄いきれない場合、しろくま電力が調達した別の電源から供給を行います。その場合は、山口県内の水力発電以外に由来する非化石証書を付与いたします。

## 2. 再エネ由来100%の電気

再エネ100%、CO2フリーの電気を使うことができます。

今までの事業活動を変えずにCO2排出量を削減することができます。

## 3. 安価に再エネ導入

現在の電気料金より安価に再エネ導入ができる可能性があります。

※電気使用状況に応じてオーダーメイドにて価格を設定します。

## 4. 対外的なPRが可能

自社ウェブサイト・名刺・広報誌などで専用ロゴマークをご利用いただけます。山口県環境生活部から、「やまぐち再エネ電力利用事業所」の認定を受けられます。

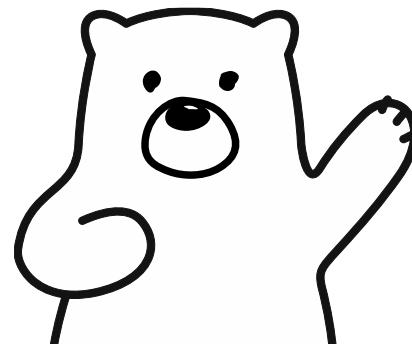


# プランのまとめ

	電力プラン	削減 メリット	高騰時の料金 上昇リスク	受付 可能枠	削減率 イメージ	備考
1	市場連動型（電力原価連動）	◎	▲	◎	-20%	電気代削減メリットを享受
2	上限付き市場連動型(電力原価連動)	○	△	○	-15%	1に上限価格を設定
3	揚水型市場連動	◎	○	○	-20% + α	高騰時のリスクヘッジと、電気代削減メリットを最大限享受
4	燃調リンク型（従来型プラン）	△	○	◎	-7%	大手電力の燃料費等調整額を適用
5	固定単価型（電源調達調整費付き）	△	▲	◎	-15%	時間帯の価格変動を低減
6	完全固定型	△	○	△	-5%	市場価格や燃調費の変動が無い
7	春秋市場連動+夏冬固定	△	○	▲	-10%	価格上昇リスクをヘッジして安さを追求



ご紹介したプラン以外にも、  
企業さまのニーズに合わせた  
オーダーメイドのプランを組成します





## 免責事項

当レポートは、情報提供のみを目的としております。しろくま電力は、当レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と默示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。

当レポートに記載する市場環境等に関する評価分析については、将来の市場環境を保証するものではありません。

しろくま電力は理由の如何を問わず、貴社が当レポートの一部または全部を利用することにより生じた如何なる損害についても一切の責任を負いません。

当レポートの著作権、ならびに当レポートの派生品の作成および利用についての権利は、しろくま電力に帰属します。

当レポートの内容に関しては、しろくま電力の承諾無く、公表または第三者への開示もしくは伝達することはお控えください。

